



HPはこちら

お盆期間のご利用状況は

対前年比 147%

JR 東日本は8月18日に「お盆期間のご利用状況について」プレス発表をしました。8月10日～17日（8日間）の新幹線・在来線のご利用状況は348.3万人、前年比147%でした。

コロナ禍の人流抑制による鉄道利用の減少から順調に回復し、コロナ前の2018年度比では約9割という状況まで回復し、多くのお客さまがご利用されました。

★「お盆期間」新幹線・在来線特急のご利用状況（主要16区間の合計）

	2021年	2022年	2023年	対前年比
下り	58.1万人	119.7万人	176.4万人	147%
上り	61.7万人	117.7万人	171.8万人	146%
計	237.4万人	237.4万人	348.3万人	147%

★主な駅のご利用実績（交通系ICカードによる自動改札利用延べ人員等）
《8月10日～8月17日の8日間》 4,245万人 前年比119%

★主な駅のご利用実績（定期券の利用を除く）

駅名	2021年	2022年	2023年	対前年比
東京	86.5万人	91.3万人	128万人	137%
新宿	196.9万人	183万人	221万人	119%
舞浜	17.6万人	25.4万人	31万人	120%

**社員は鉄道需要が回復しご利用が増えるなか
安全・安定輸送で質の高いサービスを提供している！**

**東日本ユニオンに加入して
納得できる年末手当を勝ち取ろう！**